



たわらもとウォッチング

まちのできごとを紹介します



▲今年も大いに牛が暴れました



▲子どもたちもかわいい御田植舞を披露



▲実った稲穂を刈り取る所作。豊年舞

鏡作神社で2月19日、一年の作物の豊作と地域の人の健康と安全を願う伝統行事「おんだ祭（御田植祭）」が行われました。

まず、成人女性や子どもたちによる「御田植舞」「豊年舞」が歌や笛などに合わせて奉納されました。続けて、田植えの仕草をまねる「農耕の儀」が行われました。これは、牛が暴れるほど豊作になり、砂をかけ合うほど雨に恵まれるといわれています。氏子扮する牛が暴れたり転んだりする面白い動きに、参拝者からは笑いが起こっていました。神事の最後は、「雨や雨や」の掛け声とともに、雨に見立てて空高く投げられた砂の雨が降りました。

豊作と地域の人の健康・安全を祈願
おんだ祭（御田植祭）



▲子どもも大人も一緒に植樹

桃植樹祭

桃を植えて桃のふるさとを復活させよう

3月3日に蔵堂で、黒田桃花会、あすかロータリークラブ、杜屋舎（地元有志の会）が「桃植樹祭」を行いました。

古代、桃畑が広がり桃の産地だったとされる初瀬川一帯。このイベントは、その流域にある蔵堂で桃を育てることで、田原本が桃太郎の里であることをPRするとともに、地域の人たちの親睦と地域活性化を目指したものです。

村屋神社南の田に、長野県人会贈呈の川中島白桃など40本を、地元の子どもたちが中心になって植樹しました。



▲町の新しいシンボルが誕生した除幕式

田原本駅舎西側にさまざまな桃太郎の絵が集合
田原本駅桃太郎絵画展

2月28日から駅前広場で「田原本駅桃太郎絵画展」が始まりました。

これは、桃太郎生誕地である町の賑わい創出を目的に、近鉄田原本駅舎西側の壁面に町内の幼稚園年長児が描いた桃太郎の絵を展示したものです。今後も継続して1年ずつ展示することで、新たな伝統づくりも目指しています。

展示初日の除幕式では、ももたんや、猿・きじ・犬などのかぶりものをした田原本幼稚園の園児も除幕に参加。その後、それぞれの絵を鑑賞しました。



町代表選手が全力でコースを疾走 第7回市町村対抗子ども駅伝大会

3 / 3

各地区235人の団員が退団 平成23年度田原本町スポーツ少年団退団式

3 / 4



▲メンバーのタスキを受け、走り出した選手

出場選手の紹介

木谷和貴 (南小6年)	米田拓矢 (東小6年)
西渕仁 (平野小6年)	中島翔大 (平野小6年)
福本大樹 (平野小5年)	松田奈々 (北小6年)
藤本伽奈 (平野小6年)	村下琴音 (東小6年)
石原知佳 (田原本小5年)	辻井菜緒 (田原本小5年)
辻井美緒 (田原本小5年)	

3月3日に馬見丘陵公園(河合町)で「第7回市町村対抗子ども駅伝大会」が開催され、参加した県内35市町村の代表選手が健脚を競い合いました。

同大会に町内からは、走ることに熱意と情熱のある小学5・6年生の選手11人が出場しました。

そのうち8人が駅伝に出場し、男女が1区間ずつ交互に8区間総距離14・

665^キのコースを力走。選手たちは町の代表として一致団結し、全員の思いをタスキに込めて一生懸命頑張りました。

また、今年で2回目となる個人戦のタイムトライアルレースには3人が出場。仲間たちの応援を受けながら、ベストタイム目指して1・525^キのコースを駆け抜けました。



▲修了証書を受け取る卒園児

思い出いっぱい園舎を元気に旅立つ 町内各地で卒園式・卒業式

3 / 14



▲謝辞を述べる安倍莉奈さん

3月14日に幼稚園で156人、15日に中学校で280人、19日に小学校で319人が卒園式・卒業式を迎えました。

北幼稚園では、卒園児22人が「おめでとう」の言葉とともに園長先生から修了証書を受け取りました。その後、楽しかったことや頑張ったことなど思い出を述べ、思い出のアルバムを斉唱。「小学生になっても仲良く元気に頑張ります」と述べた卒園児は、在園児や先生に見送られ、園舎を後にしました。

3月4日、「平成23年度田原本町スポーツ少年団退団式」が中央体育館で行われ、235人の団員が退団しました。

式では、本部長、来賓のあいさつの後、団員を代表して、田原本地区の福本颯さんと安倍莉奈さんが「退団式を迎えることができたらうれしく思います」「お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、中学校に行ってもいろんなことにチャレンジしていきたい」と謝辞を述べました。